

これからの造園業のありかた

田 雑 豪 裕
(株 式 会 社 庭 建)
代 表 取 締 役



株式会社庭建の会社紹介

株式会社庭建は、昭和48年に設立し、長年にわたり日本国内外での造園業務を手掛けてきました。当社は、庭園設計、施工、メンテナンスを主力とし、公共施設や民間施設の庭園づくりにおいて豊富な実績を誇ります。特に、地域社会との共生を重視し、環境保全や景観美化を通じた地域の活性化に努めてきました。最新の造園技術と伝統的な日本庭園の美学を融合させることで、唯一無二の空間づくりを追求しています。

Park-PFI事業として取り組んでいる佐世保中央公園での取り組み

近年、株式会社庭建はPark-PFI事業として佐世保中央公園の整備に取り組んでいます。Park-PFI事業は、民間資金を活用し公共施設の整備・運営を行うもので、地域の魅力を引き出し、持続可能な公園運営を目指す取り組みです。

佐世保中央公園は、市民の憩いの場としての機能を充実させた「佐世保らしい景観」の実現にむけ、造園会社ならではのノウハウを駆使して整備しました。「育てる公園」をコンセプトとするこのプロジェクトでは、交流の拠点となるよう汎用性の高い多目的広場を設置する一方、既存の自然を活かした自然観察エリアを設け、地域の生態系を保護するための取り組みも行っています。このように地域の自然環境を保全しつつ、その魅力を最大限に引き出すためのランドスケープデザインを提供することで、昨年度は約89万人が公園を利用するなど、地域のアイデンティティを強化、観光客の誘致や地域経済の活性化に寄与しています。さらに、地域の学校やNPOと連携した環境教育プログラムの実施や、地域住民とのワークショップを通じて、公園のデザインや運営に対する意見を収集することで、住民参加型の公園づくりを推進し、地域の課題に対する理解を深め、解決策を共に模索する場を提供しています。

この取り組みが評価され、第39回都市公園等コンクールにおいて国土交通大臣賞を受賞しました。これからは、地域のニーズに応えるだけでなく、地域全体の持続可能な発展を目指して活動を展開することが、未来の世代が安心して暮らせる環境を守るための基盤を築くことに繋がると考え、今後も公園が提供できる実践的な体験を通じた地域社会全体の環境に対する意識向上を図ります。

国際会議を公園で開催

株式会社庭建は、国際交流を通じた技術革新と情報共有を重視しています。その一環として、タイ工業省を招いて「第23回お互いフォーラム国際会議 in 佐世保」を誘致いたしました。お互いフォーラムは、タイ工業省が主管する公益法人であり、2011年の東日本大震災とタイ大

洪水を契機に開始された「お互いプロジェクト」を推進する団体です。このプロジェクトは、災害時にお互いを助け合う「お互い様精神」に基づいており、その精神は困ったときに遠慮せず助け合うことを意味します。

2015年6月12日に設立されたお互いフォーラムは、被災時だけでなく平時においても、経済・産業の持続的発展と成長を共に創り出すことを目指しています。

今回開催した国際会議では、タイと長崎県の連携促進、両地域間の産業における連携と協力を強化することによる新しいイノベーションが起こることを目的とし、当日は両国の海外展開に興味のある事業者や自治体、各種専門家、大学生を含む約100名が参加しました。業界の現状や課題の共有、最新技術の紹介などを通して活発な意見交換を行い新たな国際協働のきっかけとなることを期待しています。

このフォーラムは屋外公共空間の新たなアプローチを図るべく前述した佐世保中央公園にて開催しました。公園を地域活性化のハブと捉え地域の持続可能な発展に向けた取り組みを行うことも空間形成のプロである造園会社が担う重要な役目と考えます。

地域連携を主軸とした地方創生の取り組み

株式会社庭建は、地域連携を主軸とした地方創生にも力を入れています。特に、地方自治体との協働により、地域の魅力を引き出すプロジェクトを多数手掛けています。例えば、過疎化が進む地方都市においては、地域資源を活用した観光資源の開発や、開発した商品を展示販売する店舗の運営、地元住民の参加を促すイベントの企画・運営を行っています。さらには、地元企業の魅力発信、雇用促進にむけた学生と企業を結ぶ催しを5年にわたり主催するなど、多角的な視点からまちづくりに寄与しています。地方には足りないものも多く存在しますが、互いの不足を補い合うことで、相互に発展していくことが可能だと考えています。

また、地域の自然環境を保全しつつ、その魅力を最大限に引き出すためのランドスケープデザインを提供しています。これにより、地域のアイデンティティを強化し、観光客の誘致や地域経済の活性化を図っています。さらに、地域の学校やNPOとの連携を通じて、環境教育プログラムの実施や、地域住民の環境意識の向上にも努めています。さらに、業種を問わず様々な業態の企業が、公園が地域のイノベーション創出の場となりうるものであると言えます。株式会社庭建は、地域の企業や団体と協働して新たな価値を創出していく場として公園を位置づけ、これから変わっていくであろう競争社会から共創社会へ向けて取り組んでいきたいと考えています。

海外展開について

株式会社庭建は、これまでの国内での実績を基に、海外展開も積極的に推進しています。特に、お互いフォーラムを契機として、タイを中心としたアジア諸国に、日本の高度な造園技術やノウハウを提供し、現地のニーズに応じた庭園づくりを展開したいと考えています。現地の文化や自然環境に配慮したデザインを提案することで、各国の地域社会に貢献することができます。

造園会社として単なる景観設計にとどまらず、都市の持続可能な発展と住民の生活質向上に向けた総合的なアプローチが求められる緑地空間は環境改善、健康増進、社会的交流、生物多様性保護など、多岐にわたる重要な役割を果たすため、その整備と管理は地域社会の健全な発展に欠かせない要素です。

これからも、株式会社庭建は、“緑と空間の創造企業を目指す”を基本理念とし、地域社会と共生し、地域とともに成長し続ける企業でありたいと考えています。新たな挑戦を続け、次世代に誇れる庭園づくりに取り組んでまいります。